

言語聴覚科 カリキュラムマップ

◎：直結する ○：関連する

専門基礎分野							
教育内容	授業科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
人体のしくみ・疾病と治療	医学概論	◎	○			○	○
	解剖学	◎	◎	○		○	○
	生理学	◎	○	○		○	○
	病態薬理学	◎	○			○	○
	内科学（救急救命・医療画像診断）	◎	○			○	○
	小児科学	◎	○			○	○
	精神医学	◎				○	
	リハビリテーション医学	◎				○	◎
	耳鼻咽喉科学	◎	○	○		○	○
	臨床神経学Ⅰ（医療画像診断）	◎	○	○		○	
	臨床神経学Ⅱ（医療画像診断）	◎	○	○		○	
	形成外科学	◎	○			○	○
	臨床歯科医学	◎	○			○	○
	呼吸発声発語系医学	◎	○	○		○	
	聴覚系医学	◎	○			○	
神経系医学	◎	○			○		
リハビリテーション学	◎	○			○	◎	
栄養学	◎	○			○		
心の働き	臨床心理学	◎			◎	○	
	生涯発達心理学	◎			○	○	
	学習・認知心理学	◎			○	○	
	心理測定法	◎				○	
言語とコミュニケーション	言語学	◎				○	
	音声学	◎				○	
	音響学	◎				○	
	聴覚心理学	◎				○	
	言語発達学	◎				○	
コミュニケーション学	◎			◎	○	○	
社会保障・教育とリハビリテーション	社会保障制度	◎				○	
医療福祉教育・関係法規	◎				○		

臨床実習							
教育内容	授業科目	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
臨床実習	臨床実習Ⅰ		○		◎	◎	○
	臨床実習Ⅱ		◎	◎	◎	◎	◎
	臨床実習Ⅲ		◎	◎	◎	◎	◎

専門分野							
教育内容	授業科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	◎	◎			○	○
	言語聴覚障害診断学Ⅰ（小児） 言語聴覚障害診断学Ⅱ（成人）	◎	◎	◎		○	
言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	◎	◎			○	◎
失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ（基礎理論・訓練理論）	◎	◎	○		○	
	失語症Ⅱ（検査）	◎	◎	◎		○	
	失語症Ⅲ（評価・訓練・症例検討）	◎	◎	◎		○	○
	失語症Ⅳ（スクリーニング・訓練プログラム作成）	◎	◎	◎		○	○
	高次脳機能障害Ⅰ（基礎理論・検査） 高次脳機能障害Ⅱ（評価・訓練・症例検討）	◎	◎	◎		○	○
言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ（概論・評価・支援指導）	◎	◎	◎		○	
	言語発達障害Ⅱ（各論・評価・実習）	◎	◎	◎	◎	○	○
	言語発達障害Ⅲ（ID・SLI・ASD・LD）	◎	◎	○		○	
	言語発達障害Ⅳ（CP・重心）	◎	◎	○		○	
発声発語・嚥下障害学	音声障害	◎	◎	○		○	
	構音障害Ⅰ（運動障害性基礎理論）	◎	◎	○		○	
	構音障害Ⅱ（運動障害性総合・演習）	◎	◎	◎	○	○	○
	構音障害Ⅲ（機能性・器質性）	◎	◎	○		○	
	嚥下障害Ⅰ（基礎理論）	◎	◎	○		○	
	嚥下障害Ⅱ（画像評価・総合） 嚥下障害Ⅲ（訓練・喀痰吸引）	◎	◎	◎		○	
聴覚障害学	吃音	◎	◎	○		○	
	聴覚障害Ⅰ（小児）	◎	◎	○		○	
	聴覚障害Ⅱ（各論・小児演習）	◎	◎	◎	○	○	○
	聴覚障害Ⅲ（成人・演習）	◎	◎	○		○	○
	視覚・聴覚二重障害	◎	◎			○	○
	聴力検査（理論・演習）	◎	◎	◎		○	
	補聴器（理論・演習）	◎	◎			○	○
人工内耳	◎	◎			○	○	
地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学	◎	◎			○	◎

【知識】
 DP1 言語聴覚士として必要な基礎的知識を修得している3つの
 DP2 言語聴覚士としての専門的な知識をもち、根拠に基づいた言語聴覚療法を実践できる

【技術】
 DP3 正確な評価技術を修得し、効果的なりハビリテーションを実践できる
 DP4 信頼される医療従事者としてのコミュニケーションスキルを身につけている

【態度】
 DP5 専門家としての自覚をもち、常に学び続ける姿勢を備えている
 DP6 相互理解を深め、チーム医療の一員として多職種連携に貢献する姿勢を備えている